

平成29年度健康保険委員アンケート実施結果

～健康経営宣言・健診・保健指導・健康保険委員活動について～



アンケートの概要

1. 目的

加入者・事業主の皆様の声を把握するとともに、今後の事業運営の参考にすること

2. 対象

平成29年8月において健康保険委員を委嘱している1,991事業所

3. 調査方法

アンケート用紙を健康保険委員広報誌8月号に同封して発送し、返信用封筒にて郵送回答

4. 調査期間

- ・アンケート用紙発送：平成29年8月10日（木）
- ・アンケート提出期限：平成29年9月8日（金）

5. 調査内容

- ・「いわて健康経営宣言」事業について（Q1～7）
- ・健診、特定保健指導について（Q8～11）
- ・健康保険委員として（Q12～14）

6. 回収状況

アンケート回答数：562事業所（回収率28.2%） ※平成29年12月6日現在

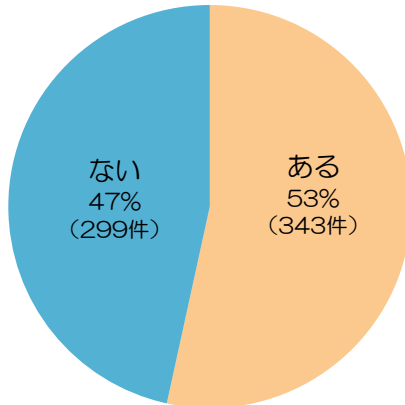
7. その他

「いわて健康経営宣言」事業については、当事業の認知度等の経年変化を確認するため、昨年度アンケートを同じ質問をさせていただきます。（※昨年度の概要：アンケート回収646事業所[回答率34.1%]）

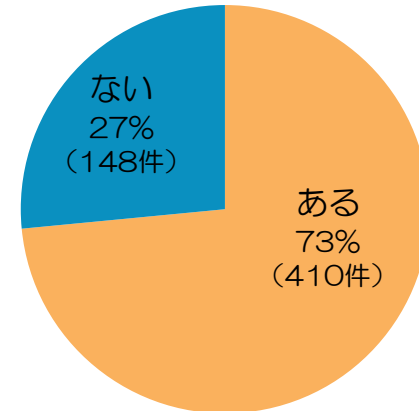
～「いわて健康経営宣言」事業について～

Q 1. 「健康経営」という言葉を聞いたことはありますか？

平成28年度

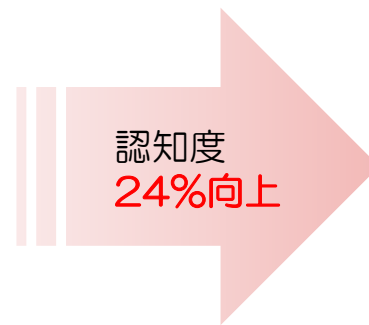
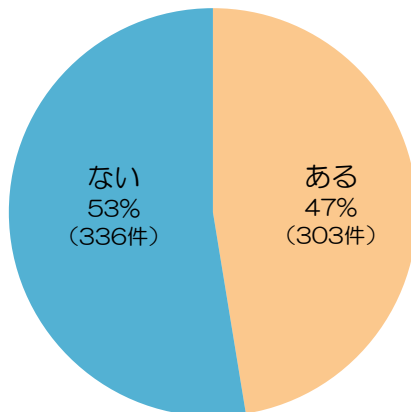


平成29年度

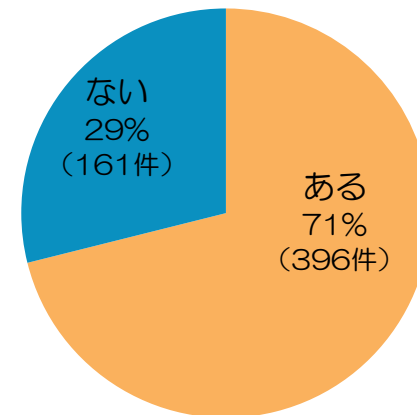


Q 2. 「いわて健康経営宣言」事業をご存じですか？

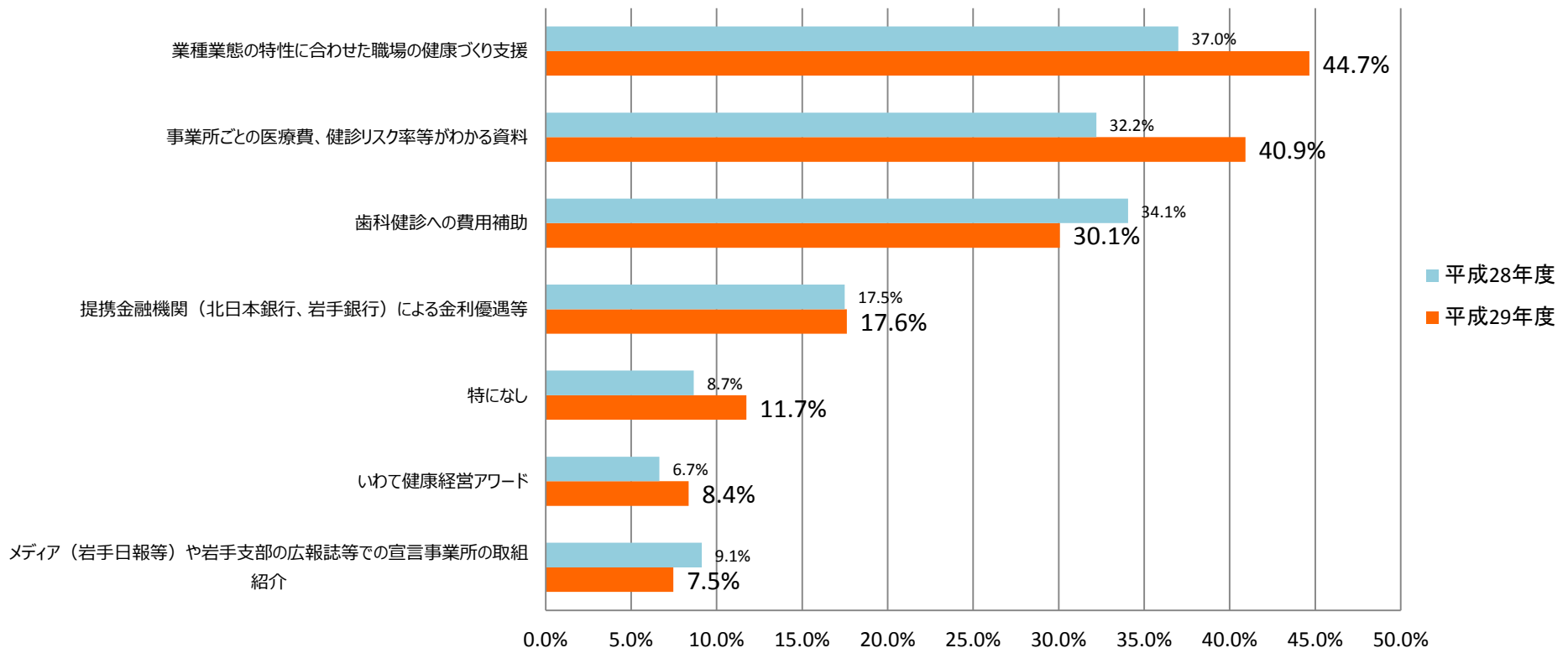
平成28年度



平成29年度

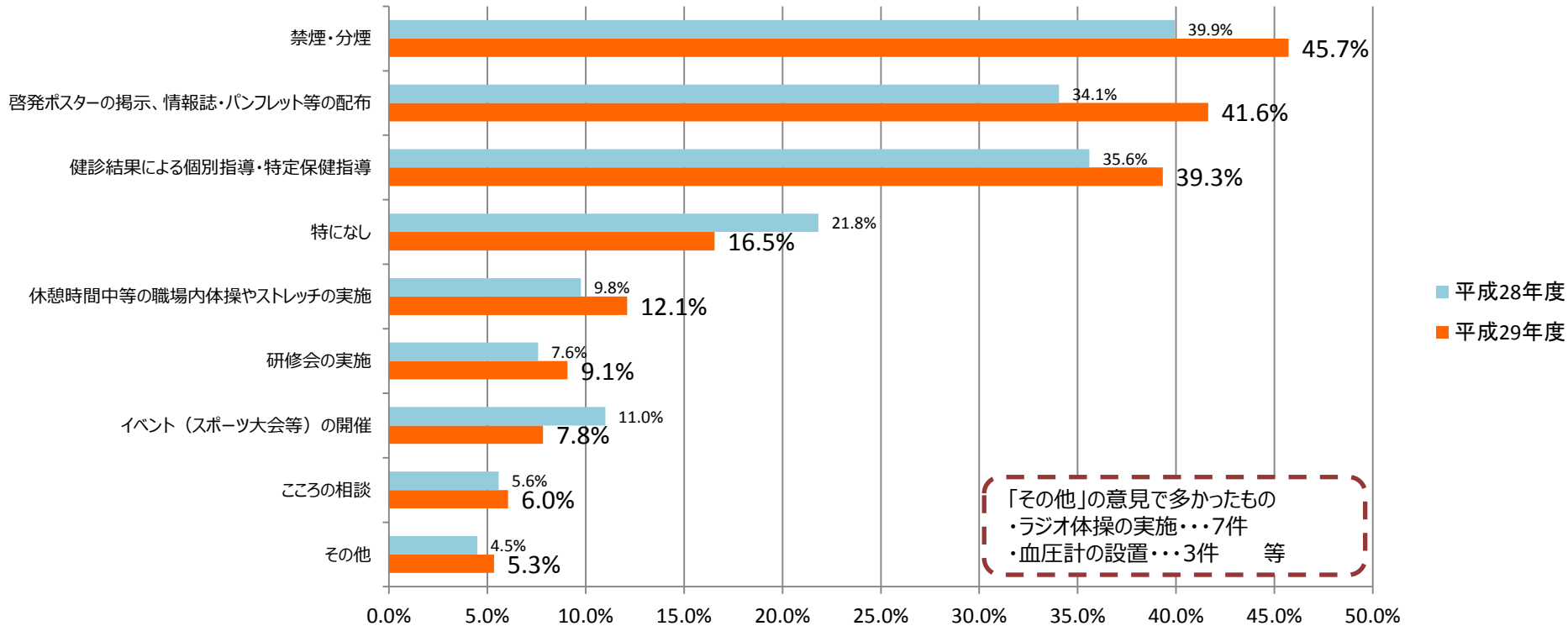


Q 3. 「いわて健康経営宣言」事業において今年度取組みを計画している下記事業について、興味のあるものを教えてください。
(複数回答可)



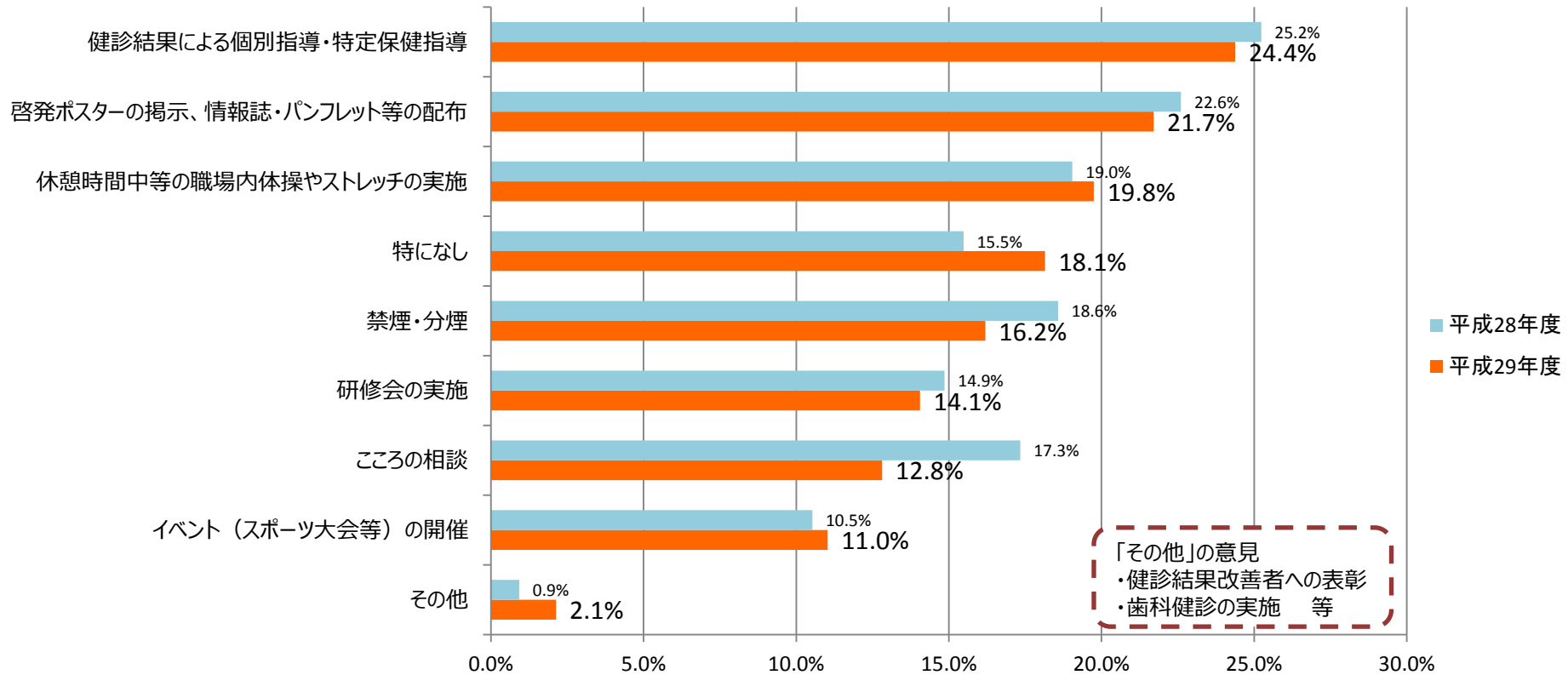
昨年度と同じ傾向にあるが、職場の健康づくりに対する支援や、事業所毎の健康度等の把握できる資料に対する関心が高くなっており、今後も継続して健康経営に対する取組みを強化する必要がある。

Q 4. 従業員の健康づくりを推進するため、職場で取組んでいる（1年以内に取り組んだ）事を教えてください。
（複数回答可）



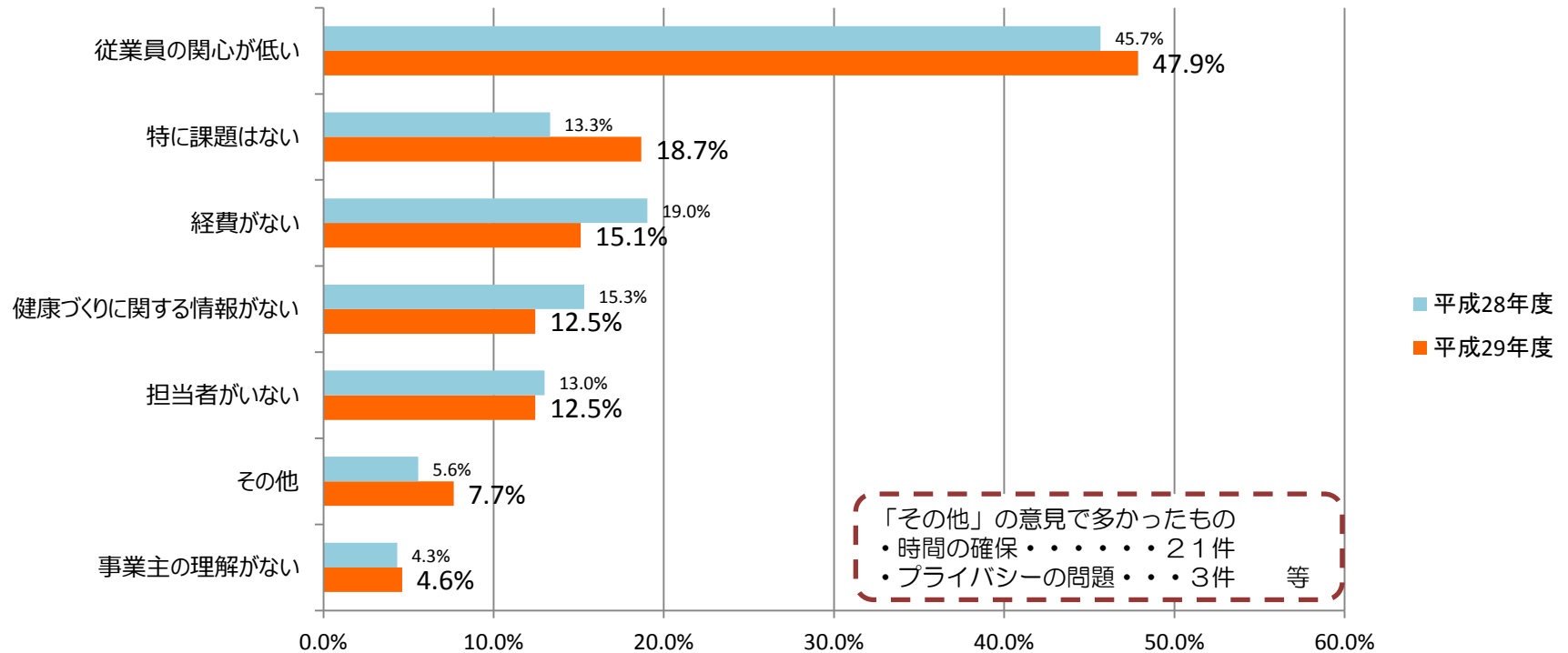
- ・昨年度と同様に、禁煙・分煙、広報物の活用、特定保健指導の利用が多く、昨年よりも取り組みが進んでいる。
- ・逆に取り組みの無い事業所「特になし」の事業所の割合は、若干ではあるが減少している。

Q 5. 従業員の健康づくりを推進するため、今後新たに取り組んでみたい事を教えてください。（複数回答可）



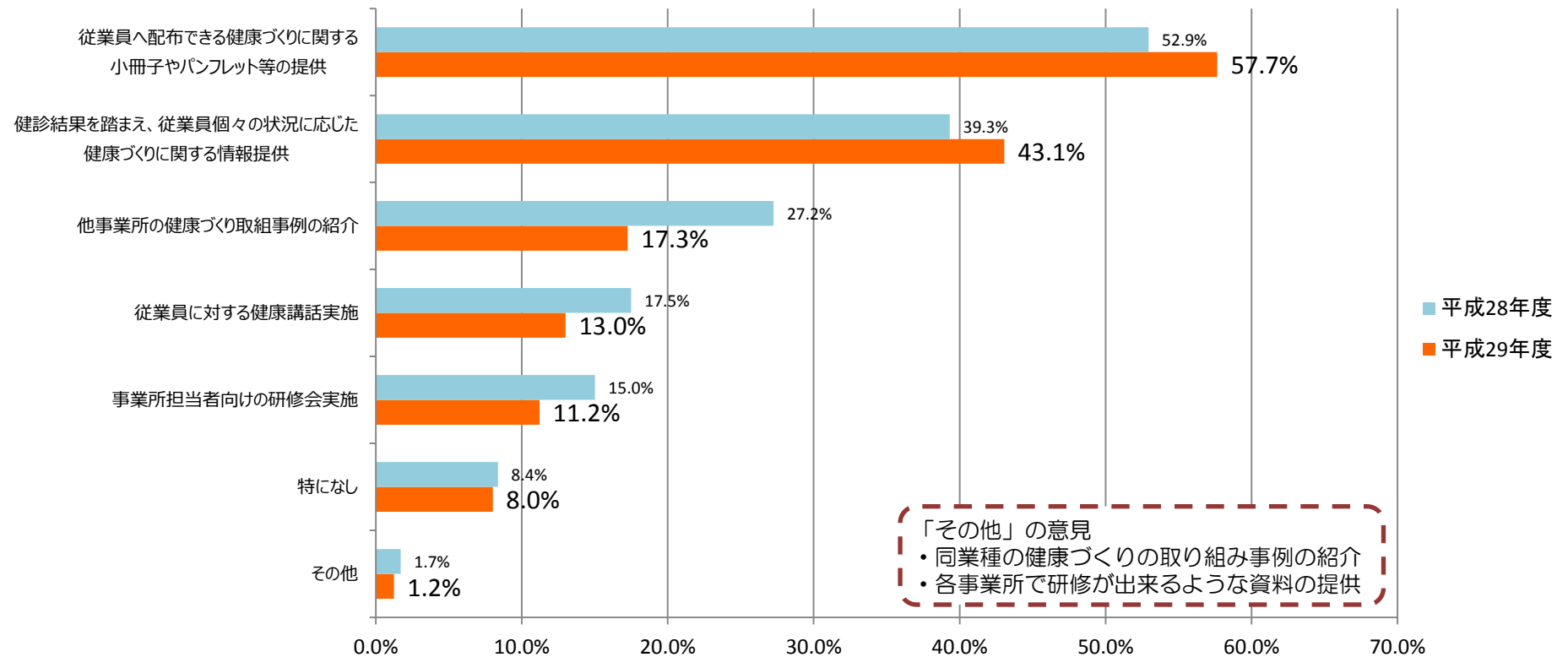
昨年度と同様に、特定保健指導等の利用が最も多く、約1/4の事業所が取り組んでみたいと回答。特定保健指導を受け入れる意識は高いようである。

Q 6. 従業員の健康づくりを推進するうえで、貴事業所の一番の課題は？（複数回答あり）



- ・昨年度と同様に、従業員の関心の低さが圧倒的。従業員の健康づくりに対する意識改革が必要と思われる。
- ・一方で「特に課題はない」という事業所が増えており、健康づくりの取り組みが徐々に浸透している可能性も考えられる。

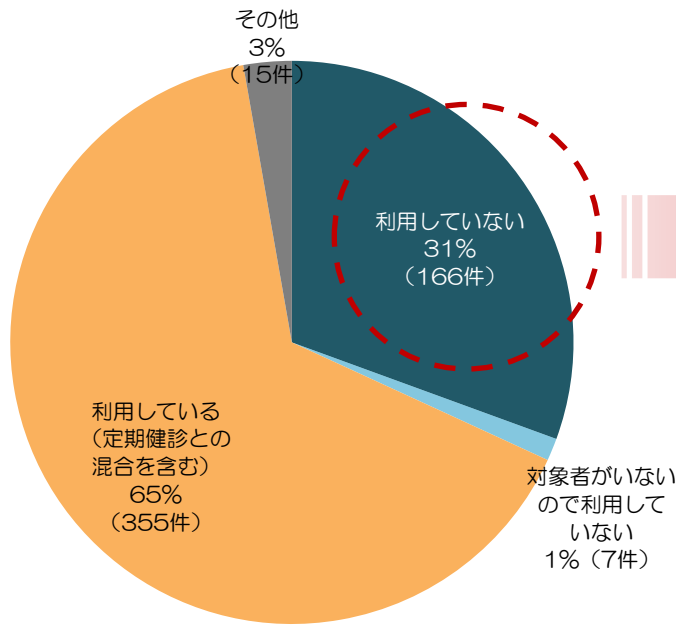
Q7. 健康づくりに関して、岩手支部に期待する事は？（複数回答可）



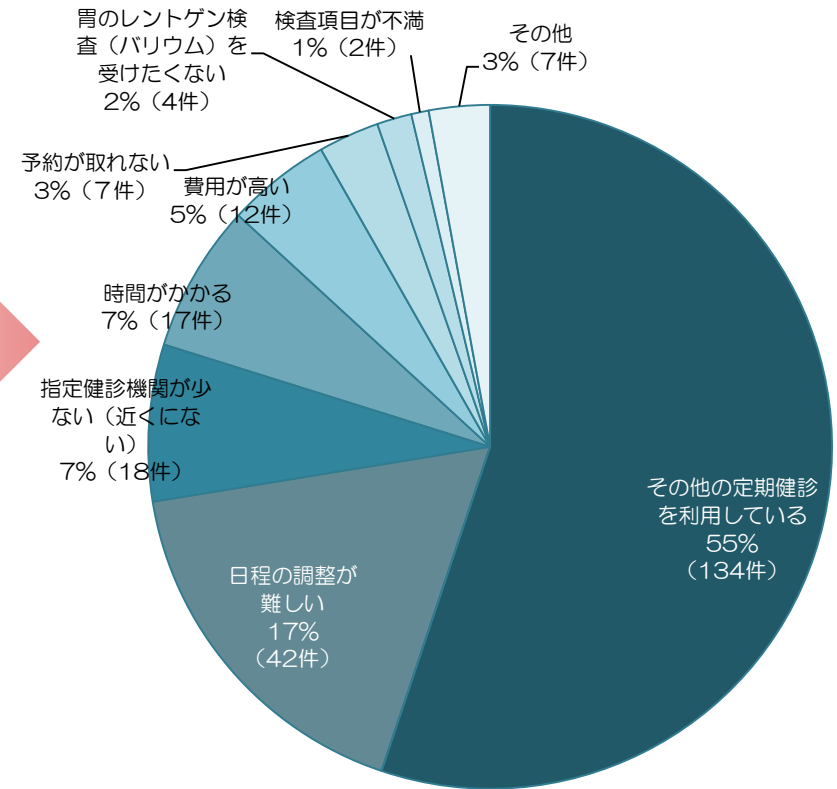
小冊子・パンフレットの提供等の広報物、及び従業員個々の状況に応じた情報の提供を求める声が多い。

～健診・特定保健指導について～

Q 8. 協会けんぽの生活習慣病予防健診を利用していますか。

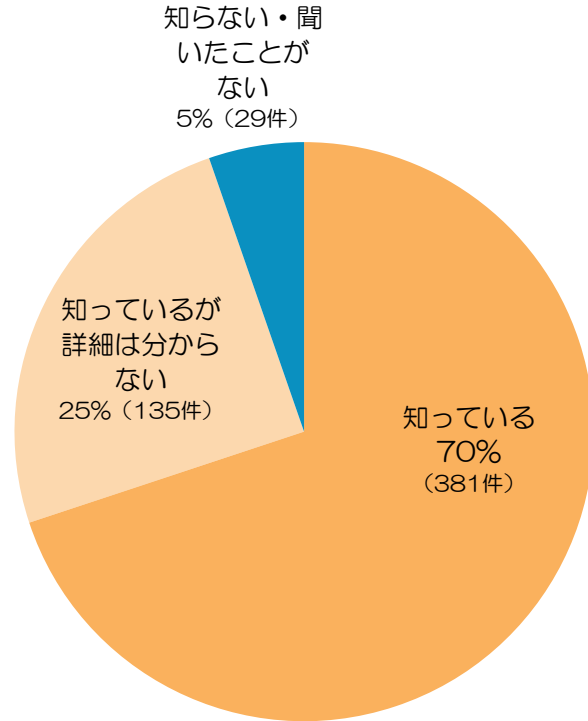


Q 9. 生活習慣病予防健診を利用されない理由についてお知らせ下さい。(複数回答可)



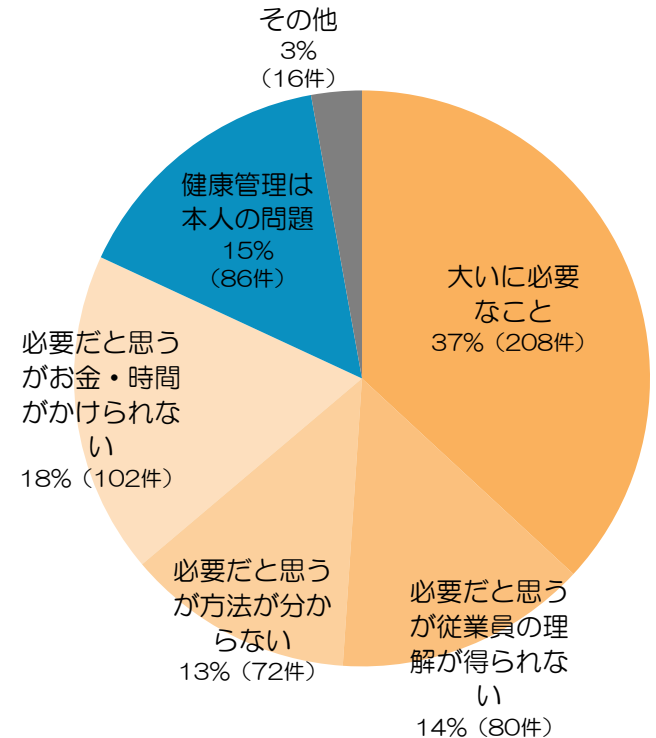
- ・生活習慣病予防健診を利用していない事業所が約3割 (166件)。
- ・利用していない事業所 (166件) の約8割 (134件) はその他定期健診等は受診している。

Q 1 0. 健康診断の結果で生活習慣病のリスクがある方を対象とする「特定保健指導」をご存じですか。



・度合いの差はあるものの、知っている方がほとんどであるが、健康保険委員の方でも5%の方が「知らない・聞いたことがない」と答えており、根本的な制度周知が必要。

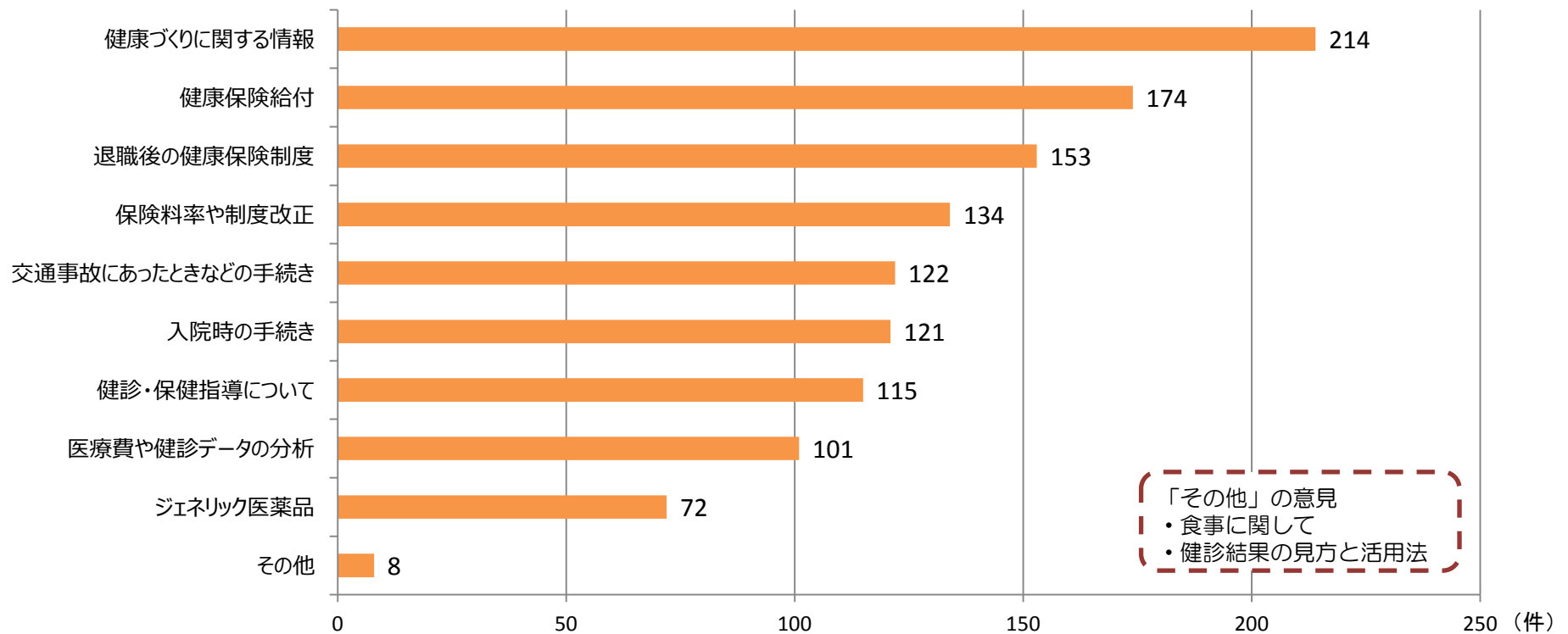
Q 1 1. 特定保健指導などの個人の健康管理を事業所が行うことについてのお考えで、近いものはどれですか。



・約8割が必要と考えているものの、15%の方は「健康管理は本人の問題」と捉えており、「いわて健康経営宣言」事業を通じて健康経営への理解を求めていく必要がある。

～健康保険委員として～

Q 1 2. 今後の広報で取り上げてほしいテーマをお聞かせ下さい。（複数回答可）



・従来のアンケートでは、従業員の病気・ケガの際の給付関係が多く挙げられていたが、今回は健康づくり関係が一番多くご希望が寄せられた。

Q13. 健康保険委員としてご苦労されている事や、従業員への制度周知等に関して工夫されている事（一部抜粋）

- ・従業員の減少に伴い一人一人の負担が大きくなり、中々健康面を気にしていただける状況にならない。
- ・従業員の健康に対する関心が低いことに加え、外勤で時間がとれない。人員減の為、時間がとれないのを理由に保健指導を受けることも困難な状況。
- ・委員を拝命してから長いのですが、勉強不足を感じており、委員向けのポイントをおさえた研修があればいいと思います。
- ・事業主等<役員等>の理解がないので、事業主等の研修会を実施した方がベストだと思われる。
- ・健康に関すること、社内イントラを利用し、周知を図っていく。
- ・協会けんぽさんからのパンフレットやお知らせは職員に回覧している。
- ・健康に関して注意してほしい事をわかりやすく工夫してポスターを作り掲示しています。
- ・保健師さんによりプロジェクター等使用により講話頂いたところ、従業員の中で食生活等への関心が増したようです。
- ・朝礼時にストレッチを行ってから作業をするようにしている。会社の経営状態が不健康なため、福利厚生施策まで手がまわらないのが実情です。
- ・広報紙、ハピネスは大いに活用させて頂いております。

Q14. 協会けんぽに対してのご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・健康診断結果により検出された項目（例：コレステロール高など）が今後どのような病気になりやすいかなど、分かりやすく書いてあると読みやすい。
- ・健康作りセミナーを奥州市でも開催してください。
- ・他事業所の事例は大変参考になります。今後とも情報提供を宜しくお願いします。
- ・制度等手続き等をもっと簡単にしてほしい。
- ・極端に言えば、特定保健指導も義務化をすれば、従業員の意識も変わると思います。
- ・こうやって広報やアンケートを書くことで、健康に対する意識はするが、普段はあまり意識していない。もっと意識を継続したいがどうすればいいのか。
- ・健康川柳コンクールいつも楽しみにしています。
- ・身体、病気について⇒ひとつひとつが分からないことばかり。情報開示等こまめに提供して欲しい。
- ・会社負担を伴わない施策を望みます。毎月の社会保険料負担だけでも大きな重荷で毎月苦慮しています。
- ・コンパクトに従業員に配布できる。チラシ等があれば良いです。